

長浜市市民協働のまちづくりアンケート調査

～ご協力をお願い～

平素から、各種団体の皆様には、市政運営に関し、格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

人口減少や少子高齢化の進展、地域コミュニティの急変などにより、社会状況が変化していく中で、これまでどおりの価値観や制度、仕組みでは対応が困難な状況になっています。そのため、長浜市では、幅広い主体の参画と多様な主体の協働による持続可能で活力ある地域社会の実現に向けて、令和2年4月に「長浜市市民協働のまちづくり推進条例」を制定、同年6月に「長浜市市民協働推進計画」を全面改定し、市民協働のまちづくりを推進しています。

このたび、長浜市市民協働推進計画を改定するにあたり、各種団体の現状や課題、また今後の活動などについて、各種団体の皆さまにご意見等をお伺いし、市民協働のまちづくりの推進に活かしていくため、アンケート調査を実施するものです。

なお、このアンケートから得られた情報は、統計的に処理しますので、団体名が特定されることはありません。また、本調査の目的以外には使用しません。

本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひともご協力いただきますようよろしくお願いします。

令和6年4月 長浜市



- ◇ このアンケートは、紙の調査票、またはインターネットから回答することができます。
- ◇ 各設問について、あてはまる□にチェックしてください。回答数（チェックをつけていただく数）は、各設問文に指定してありますので、それに従ってご回答ください。また、回答が「その他」など自由記述の場合は、（ ）内になるべく具体的その内容をご記入してください。
- ◇ 紙の調査票で回答する場合は、この調査票にご記入いただき、同封の返信用封筒に入れて、ご返信ください。（切手は不要です）
- ◇ インターネットから回答する場合は、こちらのQRコード →  を読み取っていただき、回答画面にお進みください。
- ◇ アンケートの回答は 5月20日（月） までをお願いします。

<お問い合わせ>

長浜市市民協働部市民活躍課

TEL：0749-65-8711

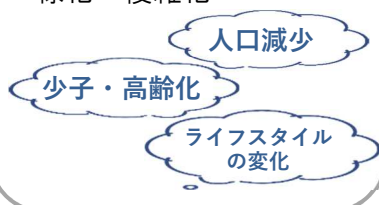
FAX：0749-65-6571

■協働とは

協働とは、立場が異なる方たちが同じ目的を達成するために、お互いを尊重し、対等な立場で役割分担しながら取り組むことをいいます。

■なぜ協働を推進しているのか

①急激な人口減少や少子高齢化の進展、ライフスタイルの変化等により、地域の課題が多様化・複雑化



②地域課題の多様化・複雑化とともに、担い手不足が深刻化し、対応が困難な課題が増加



③対応が難しい課題に対して、多様な主体がお互いの特性を活かして協働することが必要



■協働を推進するための取組



つなぎ支援

活動の困りごとがあった際に、適切な人や団体へとつなぐ

机のレイアウトを変える、ホワイトボードに書くなど、話しやすい会議の雰囲気づくりを支援



話し合いの場づくりの支援



発表・交流の機会創出

活動内容の発表の場や、活動している人同士が交流できる機会の創出

<アンケートにおける用語の説明>

- ◇ 地域活動：地縁を基礎として一定の区域を活動の場とする団体等が、公共の課題の解決を目的として取り組む活動。(例) 自治会、地域づくり協議会、子ども会、老人クラブ、PTA、消防団などの活動
- ◇ 市民活動：市民が、営利を目的とせず、自発的、自主的に公共の課題の解決を目的として取り組む活動。ただし、宗教、政治及び選挙に関する活動を除く。(例) 非営利団体(NPO)、ボランティア団体などの活動

貴団体の活動についておたずねします

問1 主な活動地域はどこですか。

(※あてはまるものすべてにチェックをつけてください)

- | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| ☐ 長浜市内全域 | ☐ 旧長浜市区域 | ☐ 旧浅井町区域 |
| ☐ 旧びわ町区域 | ☐ 旧虎姫町区域 | ☐ 旧湖北町区域 |
| ☐ 旧高月町区域 | ☐ 旧木之本町区域 | ☐ 旧余呉町区域 |
| ☐ 旧西浅井町区域 | ☐ その他 () | |

問2 貴団体の活動年数はどのくらいですか。

(※あてはまるもの1つにチェックをつけてください)

- | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|
| ☐ 1年未満 | ☐ 1年以上3年未満 |
| ☐ 3年以上5年未満 | ☐ 5年以上10年未満 |
| ☐ 10年以上 | ☐ 不明 |

問3 貴団体の会員数は何人ですか。

(※あてはまるもの1つにチェックをつけてください)

- | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|
| ☐ 10人未満 | ☐ 10人以上30人未満 |
| ☐ 30人以上50人未満 | ☐ 50人以上100人未満 |
| ☐ 100人以上 | ☐ 不明 |

問4 貴団体の収入源を教えてください。

(※あてはまるものすべてにチェックをつけてください)

- | | |
|--------------------------------------|---|
| ☐ 1. 会費収入 | ☐ 2. 会費以外の個人負担 |
| ☐ 3. 事業収入 | ☐ 4. 寄付金・協賛金 |
| ☐ 5. 市からの委託料 | ☐ 6. 市からの補助金・助成金 |
| ☐ 7. 民間からの助成金 | ☐ 8. その他 () |

問5 問4の収入源のうち、収入源に占める割合が最も大きいものは何ですか。

(※あてはまる番号を1つお答えください)

1 位

問6 貴団体は、主にどのような活動をしていますか。

(※あてはまるものすべてにチェックをつけてください)

- | | |
|--|--|
| ☐ 保健、医療または福祉の増進 | ☐ 社会教育の推進 |
| ☐ まちづくりの推進 | ☐ 観光の振興 |
| ☐ 農山漁村または中山間地域の振興 | ☐ 環境の保全 |
| ☐ 災害救援活動 | ☐ 地域安全活動 |
| ☐ 人権の擁護または平和の推進 | ☐ 国際協力 |
| ☐ 男女共同参画社会の形成促進 | ☐ 子どもの健全育成 |
| ☐ 情報化社会の発展 | ☐ 学術・文化・芸術またはスポーツの振興 |
| ☐ 科学技術の振興 | ☐ 職業能力の開発または雇用機会の拡充支援 |
| ☐ 経済活動の活性化 | ☐ 消費者の保護 |
| ☐ 市民活動団体の支援 | ☐ その他（ ） |

問7 貴団体は、他の団体との連携や協力をして活動することがありますか。

(※あてはまるもの**すべて**にチェックをつけてください)

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|
| ☐ 同様の市民活動団体など | ☐ 自治会 |
| ☐ 地域づくり協議会 | ☐ 企業 |
| ☐ 学校 | ☐ 市 |
| ☐ 社会福祉協議会 | ☐ ながはま市民協働センター |
| ☐ 商工会議所・商工会 | ☐ 連携・協力していない |
| ☐ その他（ ） | |

問8 貴団体の活動や案内は、どのような方法で広報していますか。

(※あてはまるものすべてにチェックをつけてください)

- ☐ チラシ・ポスター ☐ 機関誌 ☐ ホームページ
- ☐ メール ☐ LINE ☐ Facebook、X（旧 Twitter）、Instagram
- ☐ 市広報 ☐ 自治会や公共施設等の掲示板
- ☐ その他（ ）

問9 貴団体の活動を行っていくうえで、課題となっていることは何ですか。

(※あてはまるものすべてにチェックをつけてください)

- | | |
|--|--|
| ☐ 活動の担い手が不足している | ☐ 特定の個人に責任や作業が集中する |
| ☐ リーダーや後継者が育たない | ☐ 会員が高齢化している |
| ☐ 新しい会員が増えない | ☐ 活動が停滞・縮小している |
| ☐ 市民に十分活動が認知されていない | ☐ 市民に活動に対する理解が得られない |
| ☐ 活動費が不足している | ☐ 会員の経済的負担が大きい |
| ☐ 活動や会議を行う場所が不足している | ☐ 活動について相談する相手がいない |
| ☐ 活動に必要な情報が不足している | ☐ 活動に必要な専門的な知識が不足している |
| ☐ 活動を PR する機会の不足 | ☐ 特に課題はない |
| ☐ その他 () | |

問10 課題を解決し、貴団体の運営や活動を充実させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(※あてはまるものすべてにチェックをつけてください)

- ☐ 活動や会議などに利用できる場所の確保
- ☐ 組織内の負担の分散化
- ☐ 人材の育成・確保
- ☐ 地域内の他の団体・グループとの交流・情報交換の機会
- ☐ 活動の発表・PR する機会
- ☐ 会議の進め方の見直し
- ☐ 地域住民の意識啓発
- ☐ 活動に対する資金援助
- ☐ 資金調達のノウハウ
- ☐ 活動に必要な資機材の支援
- ☐ 活動に必要な情報が得られる仕組み（メーリングリストなど）
- ☐ 活動等の情報発信・情報共有
- ☐ 活動に関する相談を専門に行う相談窓口の設置
- ☐ 他の組織との連携
- ☐ 組織の法人化
- ☐ 会計処理の透明性の確保
- ☐ 市職員の積極的な市民活動への関わり
- ☐ 特に必要なことはない
- ☐ その他 ()

問 11 令和元年末からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、感染症拡大前と現在を比べて貴団体の活動に変化はありましたか。

(※あてはまるもの 1 つにチェックをつけてください)

- ☐ 大きく変わった > 「問 12」へ
- ☐ 少し変わった > 「問 12」へ
- ☐ ほとんど・全く変わらない > 「問 13」へ

問 11 で「大きく変わった」「少し変わった」と答えた方にお聞きます。

問 12 貴団体の活動は、感染症拡大前と現在を比べて、どのような変化がありますか。

(※あてはまるものすべてにチェックをつけてください)

- | | |
|--|--|
| ☐ 活動の頻度が減少している | ☐ 活動に参加する人が減少している |
| ☐ イベント等の規模を縮小して実施している | ☐ イベント等の開催を中止している |
| ☐ 活動場所を変えている | ☐ 会員数が減少している |
| ☐ 活動への意欲が低下している | ☐ 活動のオンライン化が進んでいる |
| ☐ その他 () | |

協働の進め方についておたずねします

問 13 市民協働を進めていくために、市はどのような施策を優先して行うべきと考えますか。

(※あてはまるもの 3 つまでチェックをつけてください)

- ☐ 協働の担い手を育成するための研修会などの開催
- ☐ 各主体のつなぎ役やノウハウの提供・相談などの支援機能の充実
- ☐ 協働で取り組む事業への財政的支援
- ☐ 市民がテーマを提案できる協働事業の活用推進
- ☐ 活用されていない資源を個人間で共有する取組の推進
- ☐ 市保有データの公開による市民参画や官民連携の促進
- ☐ 地域や協働で取り組む事業に関わる人材への支援
- ☐ 地域活動や市民活動情報の収集と発信
- ☐ 協働への理解と参加を促すための広報などの普及啓発の推進
- ☐ 協働を推進する拠点となる場所（施設）の提供
- ☐ 先端技術を活用して地域課題を解決する取組の推進
- ☐ その他 ()

自由意見

今後の協働のまちづくりについて、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。